

飯伊 産業経済動向

No.462 2017/9
(29. 10. 25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,123	枚	△	14.6 %	△	17.6 %
	金額	4,551,456	千円	△	4.5 %	△	5.3 %
うち不渡発生状況	枚数	0	枚	(前月 0 枚)		(前年同月 2 枚)	
	金額	0	千円	(前月 0 千円)		(前年同月 1,397 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	6	件	(前月 5 件)		(前年同月 6 件)	
	飯伊	1	件	(前月 0 件)		(前年同月 0 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(8月)		69	戸		30.2 %	△	1.4 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(8月)		1.65	倍	(前月 1.55 倍)		(前年同月 1.41 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,639	台		54.5 %		2.9 %
	中古車	608	台		8.6 %		1.8 %
軽自動車新規登録台数 (長野県自動車協会)(8月)	新車	3,183	台	△	16.5 %		9.0 %
	中古車	833	台	△	9.4 %		8.9 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	115,717	台	△	9.5 %		1.4 %
	出	116,393	台	△	10.1 %		1.0 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	82,789	台	△	5.1 %		3.5 %
	出	81,090	台	△	6.5 %		3.7 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	15,011	台	△	26.2 %		5.8 %
	出	15,030	台	△	24.7 %		5.9 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	44,304	台	△	22.1 %		4.9 %
	出	44,042	台	△	23.6 %		5.8 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		179	件		7.2 %		1.7 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		4	件	(前月 8 件)		(前年同月 2 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	27,166	人	△	26.1 %		0.7 %
	飯田～名古屋	18,546	人	△	17.9 %		6.5 %
	飯田～長野	9,448	人	△	8.7 %		0.7 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,424	人	△	5.6 %		3.2 %
	右回り	3,371	人	△	4.2 %		1.7 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性インキ
[リサイクル紙100%]を使用しました。

再生紙を
使用しています

概況

製造業

9月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス29.6で、前月から14.2ポイント上昇。翌月予測はプラス31.0で、前月から1.0ポイント下降している。

電気、精密機械器具の販売は、業者により増減分かれるが、やや増加との声が多い。やや減少とする業者であっても景況感の悪化には至っていない。半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比概ね横ばい～増加。先行きも強気な見方が少なくない。産業機器や医療機器向け部品の販売は、業者により増減分かれる。受注面では、前月比横ばいないし増加との声が多い。こうした中、景況感には悪化した業者も見られるが、「受注量の増大に伴い、外注を依頼して対応している」など好転、ないしは横ばいとの声が多い。建築用金属製品の売上の前月比は、概ね横ばい。しかし、「例年通り上昇傾向」など景況感には好転している。自動車向け部品の販売は、前月比やや減少、前年比は増加しているものの、景況感の好転には至っていないとの声が寄せられた。小型電磁機器の販売は、前月比横ばい。前年比はやや増加との声も。一部に景況感が好転した業者も見られた。FA関連モーターの受注、販売は、前月比概ね横ばいも、前年比が増加しており、景況感も好転との声が寄せられた。電気、電子製品では、受注、販売とも前月比増加、景況感も好転との声。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比業者により増減分かれる。前年比も同様だが、「前年が大きくマイナスだった分が戻った」などやや増加との声が複数聞かれた。しかし、こうした業者であっても景況感が好転した業者は見られない。水引製品の受注、販売の前月比は、やや減少との声もあるが、正月飾りの受注が始まったことなどからやや増加～増加との声が多い。漬物の販売は、前月比、前年比とも減少、「市販用の動きが悪い」との声が寄せられた。

建設業

9月の建設業の景況DIは、6.3で、前月から6.3ポイント上昇。翌月予測DIは、0.0で前月より6.3ポイント下降している。

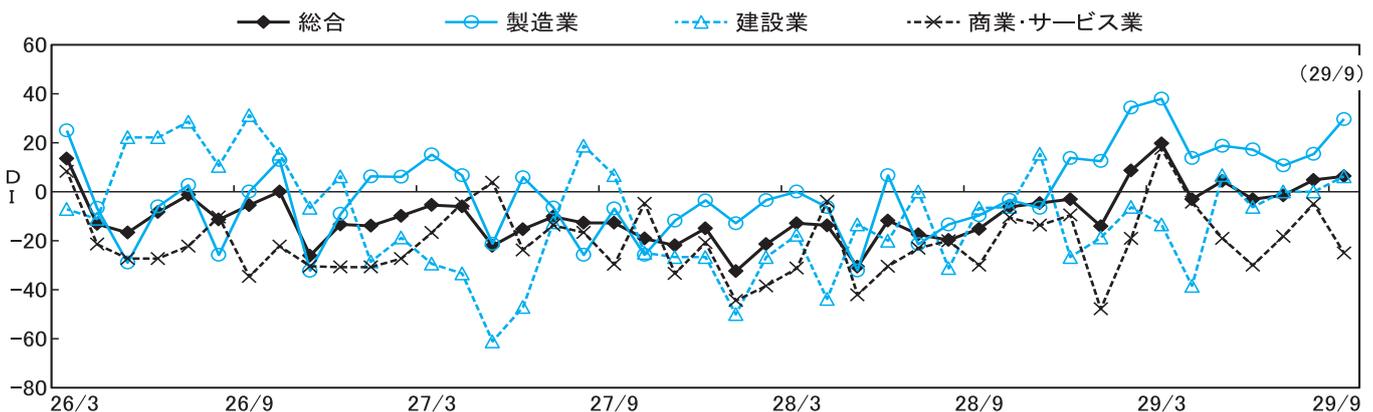
当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約20.1億円で、前月比は39%減少、前年比も1%減少している（9月15日調査時点）。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばい～やや増加。「今期分の発注工事の受注増加」など景況感が好転した業者も見られる。しかし、「発注になってはいるが、まだ忙しい状況ではない」などの声が多く、景況感が悪化こそしてはいるものの、好転には至らないとの声が多い。

民需の住宅着工戸数（8月）の住宅着工戸数は69戸。前月比30%増加、前年比は1%減少している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、一部に増加した業者も見られたが、横ばいとの声が多い。景況感が悪化した業者は見られないものの、「住宅リフォームは、依然ポツポツといったところで十分とは言い切れない」などの声が聞かれた。

商業・サービス業

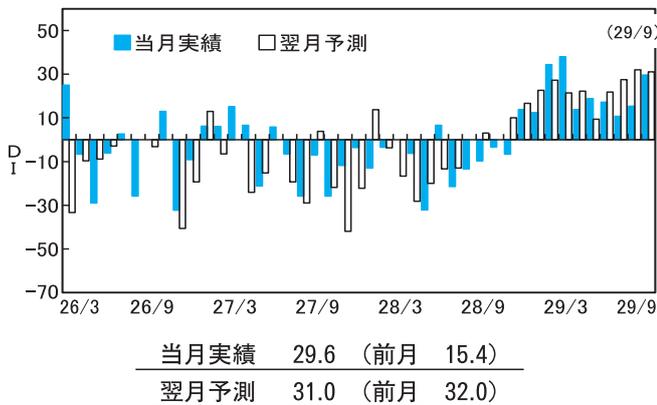
9月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス25.0と、前月より20.0ポイント下降。翌月予測DIは、マイナス9.1で、前月と同じ。食料品の売上は前月比、前年比とも業者により増減まちまち。景況感には好転した業者は見られず、却って若干悪化した業者も見られた。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感には変化はないという。家事用品卸の売上は、前月比やや減少も、前年比やや増加。電化製品の売上は、前月比減少、前年比やや増加。景況感には変化は見られない。OA機器の売上は、前月比、前年比とも増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。衣料品の売上は、前月比やや増加、前年比は業者によりまちまち。娯楽用品の売上は前月比やや減少、前年比やや増加との声。土産物関連の売上は前月比やや減少、一部に前年比もやや減少との声。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比55%増加、前年比も3%増加。8月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比17%減少も、前年比は9%増加。自動車販売、整備の売上は、前月比増加も、前年比はやや減少との声が寄せられた。市内料理店の売上は前月比やや減少～概ね横ばい、前年比は業者によって増減分かれる。昼神温泉の売上は、前月比減少。夏休み、盆休みが終わったことや、毎週末の台風（特に18号）による大量キャンセルの発生、18日でナイトツアーが一時休止したことによる入込客の減少などが売上に大きな影響を与えたという。タクシーの売上は、前月比、前年比ともに減少との声。

飯伊地区景況DI（本誌調査）



地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



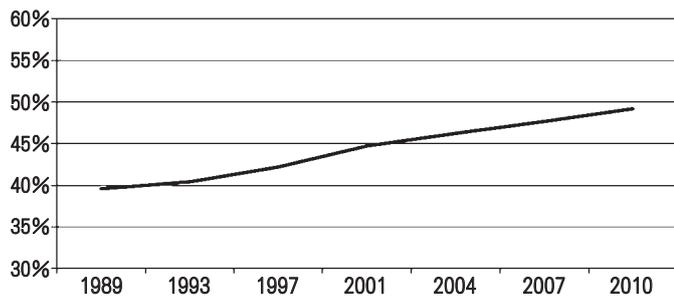
当月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス29.6で、前月から14.2ポイント上昇。翌月予測もプラス31.0で、前月から1.0ポイント下降している。

日本の完成車メーカーとサプライヤーの取引

日本の完成車メーカーとサプライヤーの取引の現状はどうなっているのか。

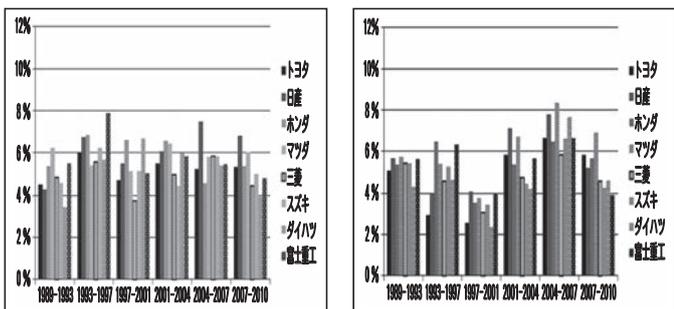
1989年から2010年の国内完成車メーカーと一次サプライヤーの部品別の取引データを分析した結果（郷古浩道「日本の自動車産業における完成車メーカーと一次サプライヤーの取引構造とその変化」DPRIETI Discussion Paper Series 15-J-014）によれば、同じ部品を2つ以上の完成車メーカーに納入するサプライヤーの比率は、下図1の通り増加していることなどから、取引のオープン化（調達先数・納入先数の増加、完成車メーカー系列の垣根を超えた取引）が少しずつ進展しているという。

図1 同じ部品を2つ以上の完成車メーカーに納入するサプライヤーの比率



また、完成車メーカー別に、その完成車メーカーと新たに取引を始めたサプライヤー（新規取引、図2）と、取引を停止したサプライヤー（取引解消、図3）

取引相手完成車メーカー別のサプライヤーの、新規取引率（年率）（図2左）と、取引解消率（年率）（図3右）



を集計すると、分析期間を通じて年率およそ5%程度のサプライヤーが新規取引・取引解消の対象になっており、かなり早いテンポで、取引関係の「組み換え」が進んでいることが読み取れるとしている。

同論文によれば、他にも、

- ・「電気、電装部品」のように、特定の完成車メーカーに集中して納入する部品と、「懸架、制動部品」のように、多くの完成車メーカーに分散して納入する部品が分かれている（2極化）。
 - ・長期的に取引を維持している部品、長期的に取引関係を維持しているサプライヤーが依然多い一方、数年程度の短期間の取引をするサプライヤーも一定程度存在しているといった特徴があり、現状では、取引関係が変化している部品、サプライヤーと、そうではない部品、サプライヤーが混在しているという。
- 電気自動車など内燃機関を持たない自動車の普及には、急速に進むとする見解もあれば、「シナリオにも満たない」（経済産業省「自動車産業を巡る構造変化とその対応について」下図はその抜粋）とする見解もある。後者の見解によっても、自動車の電子化に伴う部品のシステム化、共通化、標準化といった環境変化により、Tier1企業がTier2企業になったり、取引の更なるオープン化などの構造変化が見込まれる。



機械加工製造業

電気、精密機械器具の販売は、業者により増減分かれるが、やや増加との声が多い。やや減少とする業者にあっても「9月は少し減少したが、トータルで見ると楽観」「どこもしばらくは高水準で続きそう。相変わらずの景気が続いていると思う」など景況感の悪化には至っていない。先行きも強気な見方が多い。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。雇用面では「充足しておらず限られた人員の中で遣り繰りしている。外国人研修生を受け入れていく予定」「現状不足しており、こうした傾向は続く見込み」など不足感を指摘する声は多い。設備面でも、「入れ替え予定。古い機械を順次見直し」「当月実施。今後も予定」など積極的な声が多い。

半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比概ね横ばい～増加。「前月と同じく半導体需要に伴う繁忙は継続」「スマホ、車載向け増産継続」「メモリー向け増産」「FPD関連良好」「有機ELが増産の情報」「半導体、液晶関係は好調」などの声が聞かれ、先行きも強気な見方が少なくない。「受注残、仕掛在庫の増加が続いている。増産効果は出つつあるが、人手不足もあって、まだまだ」などの声も。「アルミ材一部上昇」など原材料、資材価格が上昇しているとの声が聞かれた。設備面でも「複数台導入。老朽化設備の更

新を考えている」など積極的な声が聞かれた。

産業機器や医療機器向け部品の販売は、業者により増減分かれる。受注面では、前月比横ばいないし増加との声が多い。こうした中、景況感は、悪化した業者も見られ、「客先の購入品の入りが悪く苦戦」などの声もあるものの、「ロボット関連は先月同様高め水準をキープしており好調」「モーター関連の増産カーブに変化はない。ロボット関係も良い」「ロボット関連が忙しい」「一部大口が動いた。このため外注費も増加。材料在庫も増加している」「受注量の増大に伴い、外注を依頼して対応している」など好転、ないしは横ばいとの声が多い。先行きについても強気な見方が少なくないが、「客先の動向説明を聞けば、軒並み好調を強調しているが、『では、いつまで?』と聞くと言葉濁す」「全般的に動くが、先は見えない」など不安感があるとの声も聞かれた。

当月原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子も「高止まり」という。雇用面では、「現状維持。個々の能力アップに期待」など現状維持との声が多いが、「複数名募集中」「若干の不足感あり。高齢化が進んでいる」「半年後だが複数名増員」などの声もある。設備面では、「実施予定」「機械入れ替え」「実施済み。今後も機械導入予定」「増設が必要。検討中」など積極的な声が少なくない。

建築用金属製品の売上の前月比は、概ね横ばい。しかし、「例年通り上昇傾向」など景況感は好転しており、これには「首都圏を中心に活発になってきている。例年この時期繁忙期だが、加えて今年はオリンピック関連が本格的になってくる。また、関西、東北方面の引合、受注も増加している」といった事情があるという。当月、原材料、資材価格に動きはなかった様子。雇用面、設備面で積極的な声が聞かれた。

自動車向け部品の販売は、前月比やや減少、前年比は増加しているものの、景況感の好転には至っていないとの声が寄せられた。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。

小型電磁機器の販売は、前月比横ばい。前年比はやや増加との声も。一部に景況感が好転した業者も見られた。先行きに大きな動きは見込まれていない様子。当月、原材料、資材価格がやや上昇したとの声が寄せられた。

FA関連モーターの受注、販売は、前月比、前年比とも増加、景況感も好転との声が寄せられた。「産業機械向け、車載向けともに増加で推移」という。

電気、電子製品では、受注、販売とも前月比増加、景況感も好転との声が寄せられた。当月、原材料資材価格や製品価格に大きな動きなかったという。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比業者により増減分かれる。前年比も同様だが、「前年が大きくマイナスだった分が戻った」などやや増加との声が複数聞かれた。しかし、こうした業者にあっても「中長期では昨年と変わらない」「得意先の情報では動きは良くない」「菓子はそれほどでもないが、機械屋さんはどこも忙しい」「菓子の需要は変化が少ないまま推移すると思われる」など景況感が好転した業者は見られない。先行きも大きな変化なく推移するとの見方が多いが、「10月になれば良くなる見込み」など増加を見込む声も。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。雇用面では、「手当が済んだ。今後は現状維持」など、今後積極的に雇用するとの声は聞かれぬ。設備面でも概ね現状維持の様子。

水引製品の受注、販売の前月比は、やや減少との声もあるが、正月飾りの受注が始まったことなどからや

や増加～増加との声が多い。「9月から少々荷動きが良くなった。昨年と比べると販売は増加している」など景況感が好転した業者も。原材料、資材に関し、「正月飾りの中国からの輸入は順調だが、政府が環境問題に力を入れ始めたこともあって、段ボール、紙類、印刷POPなどが大幅な値上がり」「繁忙期を迎えた上に、短納期化で製造日数が減ったことや製品の多様化で、材料、人員の確保が大変。人件費も上がっている」「運送各社から10月以降の運賃値上げの交渉がある。社会全体で受け止めていかなければならないことだろうが、当面価格転嫁は難しそう」などの事情から、「利益が減っている」との声が聞かれた。「長年の取引先で近々の廃業を決めたところが複数ある。祝儀用品、紙製品の業界の零細企業にとっては厳しい状況が依然続いていると感じる。本業から考え直す必要を感じる」との声が寄せられた。

漬物の販売は、前月比、前年比とも減少、「市販用の動きが悪い」との声が寄せられた。「配送費が徐々に上昇。地方の製造業には大きな問題」との声。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比横ばいとの声が寄せられた。先行きはやや増加を見込んでいるという。

印刷、出版関連の売上は、「今月はまずまずの数字だったが、前年同月があまりに良かったために、前年対比では大きく減少。もう少し伸ばしたかった」との声が寄せられた。雇用面で「工務系の求人には即応募があり採用に結びついたが、営業系では難しい」という。設備面で積極的な声が聞かれた。

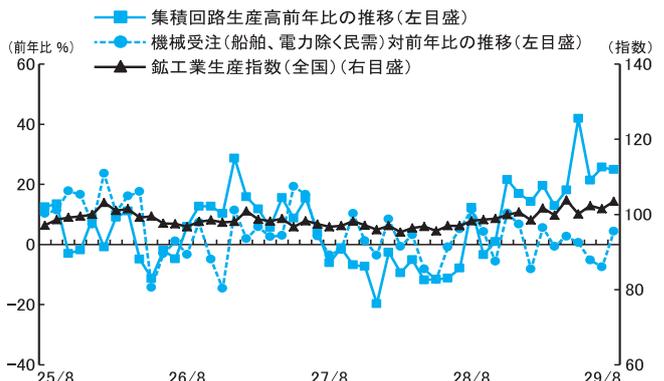
衣料品の受注は、前月比、前年比ともやや増加。しかし、景況感は悪化との声が聞かれた。「百貨店が不動産業化して、アパレル関連の売上が期待できない。今後は Made in Japan の海外販売や EC、SNS を通じた販売に移行していきそう」という。「国内生産拠点の確保と、短納期、短サイクルに対応するため、大手アパレルによる企業再編が進むのではないか」との声が聞かれた。

住宅機器、オフィス家具や店舗用什器など家具の生産は、前月比概ね横ばい、前年比はやや増加との声が寄せられた。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。雇用面で「中途採用複数名」との声が聞かれた。

【企業からのコメント】

- ★補助金の利用も考えるが、高額な補助であればあるほど書類作成や報告などの後処理の手間を考えてしまう。
- ★開発要員が不足。
- ★半導体関連は前月同様好調。
- ★板金屋さん、塗装屋さんは特に忙しい。
- ★同業も皆さん忙しい。

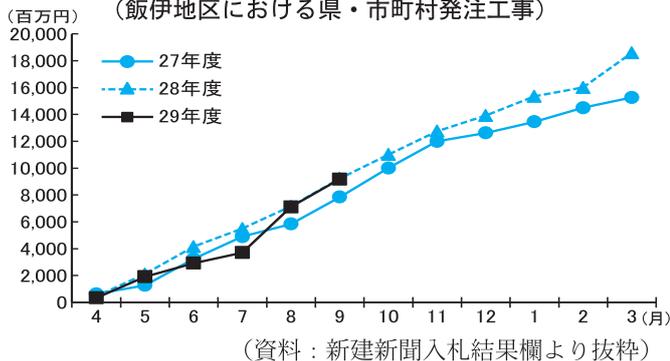
集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



建設業

入札額累計の推移

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI	6.3	(先月 0.0)
翌月予測DI	0.0	(先月 6.3)

官公需

当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約20.1億円で、前月比は39%減少、前年比も1%減少している(9月15日調査時点)。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばい～やや増加。「今期分の発注工事の受注増加」「作業員の人数分は工事を確保」など景況感が好転した業者も見られる。しかし、「土木工事は適当にあるのではない」「建築はそれほどではない」「追加受注の動きは鈍く、年間契約高が前年に比べ若干減少しているものの、業務量としては十分」「受注があって工事高等は伸びたが、公共工事の発注は、金額、件数ともに少ない状況に変わりはない」「発注になってはいるが、まだ忙しい状況ではない」「生コンや資材の出荷量も減っている様子」「例年にないほど仕事が少なくとても厳しい」「1件に何十社という応札があり、なかなか落札に結びつかない」などの声が多く、景況感は、悪化こそしてはいないものの、好転には至らないとの声が多い。

先行きに関する見方は分かれ、増加を見込む声も少なくないが、「先細りの感じがする」「補正予算等で発注量が増えていくことを望んでいる」「これから年度末に向け忙しくなってはくるところだし、そうあって欲しいが、業者により差が出るのではないかなど、先行きに関する景況感の好転には至っていない。

雇用面で、「忙しくはないのだが、ガードマンなど職種によって不足が見られ、人手不足感はある。11トンダンプにはまだ不足感はない」「技術者、営業、経理などで募集中」「施工職員を募集中」「当月複数名増員」など、不足している、ないしは手当したといった声が複数聞かれた。

民需

当地区の8月の住宅着工戸数は69戸。前月比30%増加、前年比は1%減少している。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、一部に増加した業者も見られたが、横ばいとの声が多い。景況感が悪化した業者は見られないものの、「住宅やリフォームは、依然ポツポツといったところで十分とはいえない」「完成工事が住宅やリフォームなどで小さい」「建築は住宅を含めて目一杯という感じではなく、何とかやっている業者が多いのではないかな」「リフォームのみ」「民間も発注にはなっているが、忙しくはない」といった声のほか、「民間の仕事はやや増加している」「地元の異業種に参入したことに関連した個人の民間工事の受注機会が増えた」などの声も寄せられた。

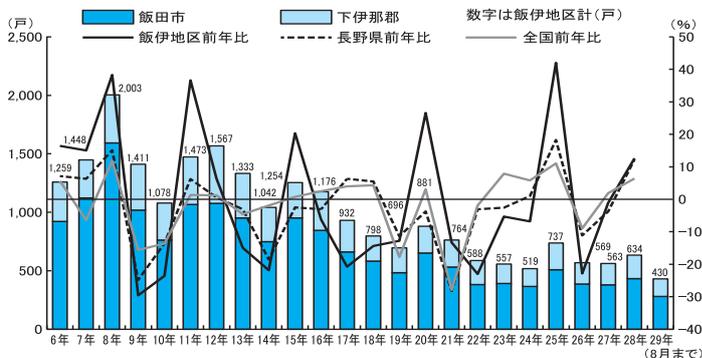
「現状人手不足。確保したい」「やや不足。新規雇用をハローワークに申請中」「不足気味。確保する予定」など雇用面の不足感を指摘する声は多い。

一部に、工事単価がやや上昇しているとの声も。

飯伊地区の住宅着工戸数

平成29年の1～8月の住宅着工戸数の累計は、飯田市281戸、下伊那郡149戸の合計430戸で、昨年の同期間の累計に比べ6%増加している。用途別に平成29年1～8月の累計を前年の同期間と比べると、持家は1%、貸家が19%、分譲が30%増加している。

住宅着工戸数の推移



建設資材

塗料等建設資材の売上は、前月比概ね横ばい、前年比はやや増加との声が寄せられた。当月、仕入、販売価格に大きな動きはなかった様子。

鋼材の売上は、前月比、前年比ともやや減少、「売上が伸びない。土木、建設もあまり振るわず、需要を引っ張るような業種もない。低迷状態が続いている」など景況感悪化との声が寄せられた。鋼材価格に関し、「一般鋼材でもメーカーの値上げがあり、流通も、良くないながらも、若干の値上げを行った」という。

生コンの売上は、前月比増加、前年比は概ね横ばい～増加。しかし、「依然工事受注量がなく厳しい状況」「地区内の中小業者は収益が悪化しており苦しい。堰堤工事が本格的に動き出すのを期待したい」など景況感が好転した業者は見られない。「主な出荷はリニア関連工事、三遠南信自動車道関連工事、民間建設工事。JR発注のリニア関連工事は前月より増加した」という。

骨材等の売上は、前月比、前年比とも増加。「リニア関連で2本のトンネル工事があり、生コン向け出荷増加。数か月続く見込み」「もう少し売上が欲しいところだが、悪かった昨年に比べると改善した。リニア関連工事の着工度合いの影響は大きい。一方、三遠南信、リニア関連を除く公共発注が少ないため、地域で見ると北高南低となりつつある」などの声が寄せられた。一部に雇用面で積極的な声も。

【企業からのコメント】

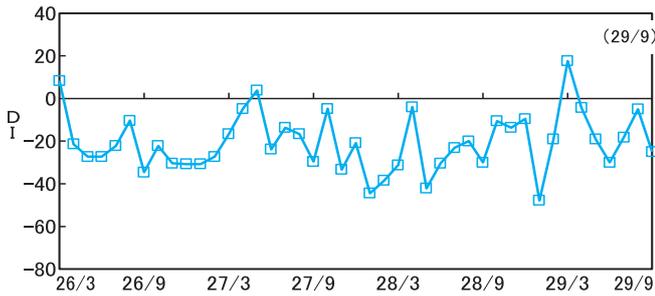
- ★大型ダンプに関し、古い車両の維持、燃料費や目前的リニア特需から投資を先送りできないことから、各社ここ数年で新車に切り替わってきた。今後は増車のタイミングとそれに伴う運転手の確保が課題になりそう。
- ★小規模でも元請受注に専念した結果、経営が好転した。

住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

- 9月 ○飯田建設事務所分
 - 新築 10件 (前年 4件)
 - 増築 3件 (前年 6件)
- 飯田市役所分
 - 新築 34件 (前年 18件)
 - 増築 2件 (前年 2件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業DI



当月景況DI	-5.0	(先月 -25.0)
翌月予測DI	-9.1	(先月 -9.1)

商業

食品の売上は、前月比、前年比とも業者により増減まちまち。景況感、好転した業者は見られず、却って若干悪化した業者も見られた。仕入単価がやや上昇したとの声も。雇用面で、現状の不足感を指摘する声が多かったほか、「複数名内定」「増員考慮」などの声が多かった。

【青果卸売市場】

売上は、前月比増加、前年比やや減少という。野菜は、「昨年は台風の影響でやや単価高だったが、今年は順調な入荷で、価格は前年より8%安。特に人参・玉葱・レタスは3~5割安、一方ピーマン・トマトは3~4割高」という。

果実は、「昨年は遅霜の影響による入荷減があったが、今年は順調に入荷（前年比12%増）。価格は前年比13%安で一昨年並みの販売となった。おてごろ感があり、引き合い強く順調な販売となった」との声。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感に変化はないという。

家事用品卸の売上は、前月比やや減少も、前年比やや増加。先行きに関する景況感が好転しているという。「飯田市の指定ゴミ袋の売上が多く、去年の9月に比べて売上が少し多くなった。」などの声が寄せられた。

電化製品の売上は、前月比減少、前年比やや増加。景況感に変化は見られない。「高齢者施設や大型店舗の物件があり、LED照明や放送設備、火報設備などが良く伸びた。工場関連の設備投資が進み、電子機器が好調」「大型エアコンに関連した空調の物件が少なく苦戦」「家電製品は全般的に売上が伸びない。これから冬物の季節商品に力を入れて行きたい」「仕入価格が若干低下したので仕入れた」などの声が寄せられた。

OA機器の売上は、前月比、前年比ともに増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。「スチール製品やインクカートリッジなどで値上げがある」という。9月以降、アマゾンジャパンがオフィス用品等を法人に提供する「アマゾンビジネス」を開始するほか、アスクルがカード決済の取扱いを開始するが、「このままでは流通の中で取り残されてしまう事も起こりうると認識して、方策を探す努力が必要」など、それらによる影響の大きさを懸念する声が寄せられた。

衣料品の売上は、前月比やや増加、前年比は業者によりまちまち。「業種問わず新規のお客さまが増えた」「サービス系のオフィスユニフォームの更新等が目立った感」「依然衣料品は消費志向が低い」「隣接道路の通行止めが解除になり、昨年並みに回復してきた」などの声が聞かれた。

娯楽用品の売上は前月比やや減少、前年比やや増加との声。

土産物関連の売上は前月比やや減少、一部に前年比もやや減少との声がある。「隣接道路の交通量の増加に向け、行政や観光協会などとの協議も必要」との声が多かった。一部に雇用面で不足感を指摘する声が多かった。

松本自動車検査登録事務所管内の**自動車新規登録台数**は、新車は前月比55%増加、前年比も3%増加。中

古車は、前月比9%増加、前年比は2%増加した。8月の県全体の**軽自動車新規登録台数**は、新車は、前月比17%減少も、前年比は9%増加。中古車は、前月比9%減少も、前年比は9%増加した。

自動車販売、整備の売上は、「車の販売台数が前月比で新車、中古車ともに増加した」など前月比増加も、前年比はやや減少との声が寄せられた。先行きに関し、「年末に向かって買い替え需要が増加する」との声。「中古車の仕入れは低年式が増え平均単価が下がった。販売面でも、台数が多かった分低価格の車両が多かった」「定年退職のお客さまも余裕のある方とない方が極端に分かれる。安さだけを求める方もいる」などの声が聞かれた。

サービス業

市内料理店の売上は前月比やや減少~おおむね横ばい、前年比は業者によって増減わかれる。「サンマ等秋の魚が高い」「当月宴会等が少ない分、店売りを増やしたいところだが、客単価が小さい」「当月、月後半から良くなり、週末が月の終わりにあったことで、前年を上回った。しかし、今年に入り、前年比を上回った月は少ない」などの声。「夜の街を中心に客が少ないという声を聞く。飲食店を含め、郊外に色々な店ができていますので、二次会に飯田の街まで来る人は、週末を除き本当に少なくなったようだ」という。

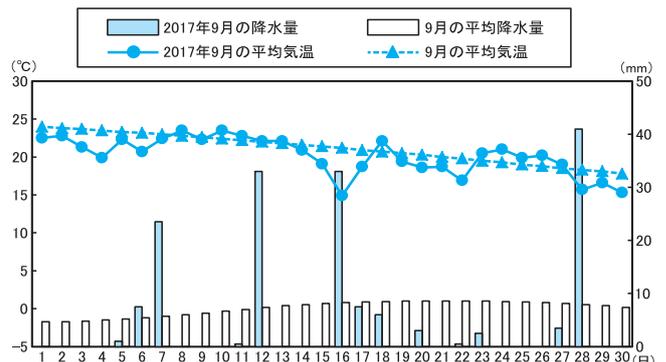
昼神温泉の売上は、前月比減少。夏休み、盆休みが終わったことや、毎週末の台風（特に18号）による大量キャンセルの発生、18日でナイトツアーが一時休止したことによる入込客の減少などが売上に大きな影響を与えたという。しかし、「以前の9月は売上がなく大変だったが、今はナイトツアーのお陰で売上確保できている」「10、11月は今までは紅葉で売り上げをあげていたが、星のお客さまが占める割合が増加」などナイトツアーの良い影響を指摘する声は多い。これに関し、「若いお客さまが多く、客室稼働率が高いが、利用人数稼働率は低い」「客室稼働率の高さに伴う労働力不足で、お客さまへの対応に課題がある」「相変わらず人手不足が続くそう」などの声が聞かれた。

タクシーの売上は、前月比、前年比ともに減少、「依然として夜間の需要は落ち込みが厳しい」との声が寄せられた。「各社ともに大きな問題である労働力の確保が厳しい一方、働き方改革による労働時間、最低賃金の増加と難題が山積みになる中で、今後公共交通の継続的なサービスを提供する為にどの様な対策を実施していくのか？いずれにしても業界を取り巻く環境の激変により大きな変化があるのではないかと」の声が多かった。

【企業からのコメント】

- ★サービス業を含め人材を求める声がよく聞かれる。人手不足なのだろうか？
- ★安心安全のための品質には多少は出費ができる豊かな考えも大切なのでは。
- ★県内同業者が昨年より相次いで異業種からの資本参加を受け入れる事になっている。引き続き厳しい業況が続くそう。

飯田の気温と降水量



地方や小規模事業者はリタイアの準備が遅れがち！

飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課
中小企業支援アドバイザー 佐々木信高

企業の将来、いわゆる事業承継についての相談が多くなってきました。

相談者は皆70歳以上で後継者がおらず、廃業も視野に入れている事業者もいます。独自の技術や商品を持っていて、業績もそれなりの企業であればまだしも、小規模企業であれば県の事業引継ぎ支援センター等の機関が扱う案件にはなかなか該当してこないのが現状です。そうすると、小規模事業者は廃業しか選択肢がありません。

特に商店主の皆さんは、経営者というよりプレイヤー。50代は若手、60代は中堅という感覚の方が多く、日々の仕事に追われ、自身のリタイアやその後についてどうするかは後回しになりがちですし、後継者の育成や事業譲渡に関しての判断も遅れがちです。商店街は、全国的にも収益力低下、後継者不足、高齢化などの問題を抱えており、具体策がないままに経営者が病気にでもなれば深刻な問題にもなりかねません。店舗を売りたいのに買い手がいないといった問題も発生します。定年という概念が無いために切迫感がなく、業績の悪化から廃業という選択をしてしまいます。

国は、平成26年6月に「小規模企業振興基本法」を施行しましたが、重点施策の5に「事業承継・円滑な事業廃止」と記述があります。

小規模企業振興基本法 重点施策の抜粋

(重点施策5) 事業承継・円滑な事業廃止

事業が継続して行われることが、地域経済社会の発展のために不可欠である。

このため、事業承継に関する法制面をはじめとした諸制度の整備・活用を進める。また、支援機関等において、後継者難の小規模企業と創業希望者とのマッチングや人材育成を促進する。さらには、事業承継を契機として新たな事業展開に挑戦する後継者への支援を行うことにより、第二創業を推進する。

一方、事業の継続が見込まれない場合には、廃業することも選択肢の一つとして検討できるよう、事業の廃止に関する相談窓口の整備を進める。

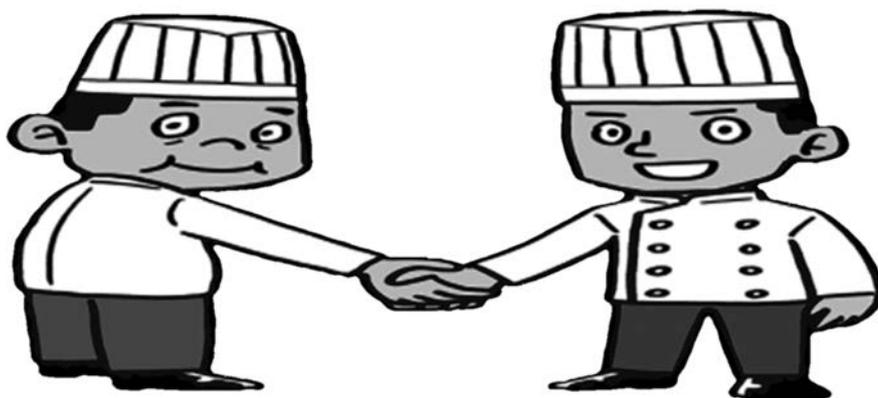
小規模企業共済制度の整備・活用や、経営者保証に関するガイドラインを踏まえた融資の促進等を通じて、円滑な廃業、事業承継や再チャレンジに向けた環境整備を進める。

この中で「事業の継続が見込まなければ廃業」との記述がありますが、「それでよいのだろうか？」と思うことがあります。「地方創生、地方を元気に」と片方で旗を振りながら、「事業の承継がダメなら廃業」では地方はますます衰退してしまうのではないのでしょうか。「事業承継」か「廃業」の二者択一だけでなく中間的な取り組みに対しても行政や支援機関が考慮する必要があるのではないかと思うのです。親族内承継もダメ、親族外承継もダメ、M&Aもダメとなれば企業は廃業しかありません。しかし、今の事業承継施策は、資金も体力も意欲もある企業(買い手側)が、それなりに価値のある企業(売り手側)の事業を引き継ぐというのがベースにあるので、案件はどうしても限られてしまいます。

しかし、小規模事業者の個々の財産(例えば、工場、店舗、機械、備品、従業員、得意先等)に着目すれば、そんなに体力が無くても引き継ぎたいという買い手側は多いと思います。そのためには、行政をはじめ支援機関が、廃業の予定がある事業者に財産があるのかどうか洗い出すとともに、財産の引継ぎ先の候補者をリストアップしておく必要があります。この場合、「廃業を考えていることが商売や信用に差し支え、秘密にしたがるので難しい」

とか「財産を洗い出すといっても誰がデューデリジェンス（資産評価）をやるのか」と話を難しくしてしまうような意見もありますが、あまり難しく考える必要はなく、廃業を考えていようがいまいが、その事業者の財産に何があるのか洗い出しておけば良いと思います。財産価値も綿密に価値を算出しなくても売り手側と買い手側の交渉で決めればよく、廃業すると設備の廃棄費用が掛かったりして無償でもOKという場合もあるでしょう。とかく事業承継というと、贈与税・相続税、株式の集中といった話に偏っていて小規模事業者とか地域の実情にあっていない事に疑問を感じています。

国や県という大括りの中での「事業引継ぎ支援センター」等の機関もそれなりに必要性はありますが、行政、金融機関、商工会議所、商工会が連携してもっと小さな括り、例えば飯田・下伊那の狭い地域のローカルな、しかも小規模事業者を対象とした承継支援センターがあっても良いのではないかと思いますでしょうか？…。

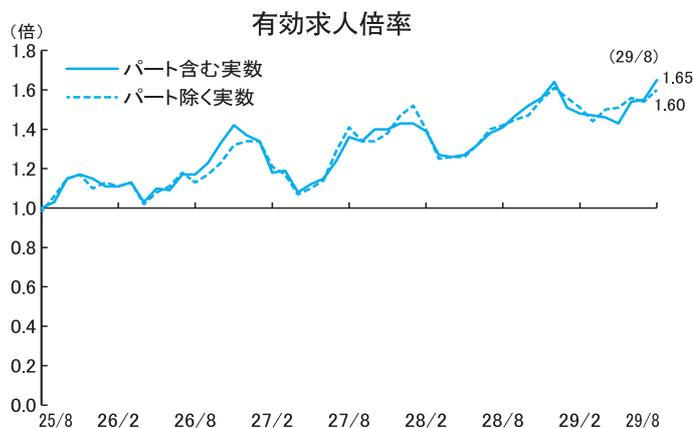


飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

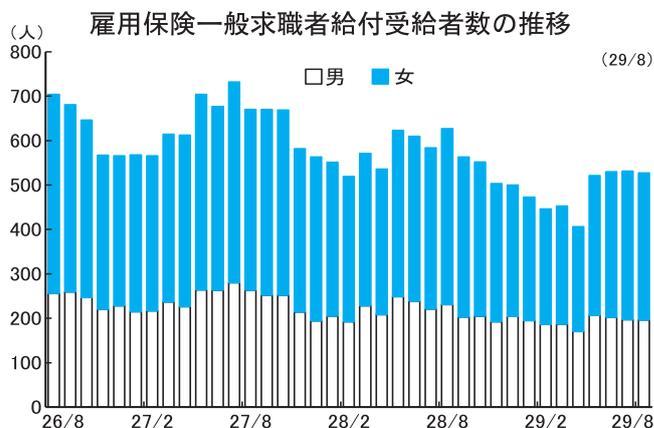
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 佐々木信高 は、商工会、商工会議所で地元中小企業の支援業務に長く携わった経験を基に、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



8月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.65倍と、前月から0.10ポイント上昇。パートを除く実数も1.60倍で、前月から0.06ポイント上昇している。



8月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は1人減少、女性も3人減少しており、全体では527人と前月から4人減少している。

(資料：ハローワーク飯田)

観光と環境に関する調査報告書 抜粋

国連は、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動などの目標の達成を目指すために「持続可能な開発目標」を策定し、これらを達成する上でも観光の果たす役割は大きいとして、2017年を「開発のための持続可能な観光の国際年」と定め、持続可能な「観光の役割に対する認識を広めるための取組」を開始した。ところで、近時は観光客の増大等に伴う「負のインパクトを指摘する声も注目されるようになってきた」とも言われる。右は知床、ニセコ、奥入瀬溪流、恩納村、真喜屋、久高島、座間味などの実例で「『観光の持続可能性を拒む行為や現象（インパクト）』、『インパクトを受ける客体』『インパクトをもたらす要因』を積み上げる作業を通して『持続可能な観光』が直面する課題を考察した（寺崎竜雄（公財）日本交通公社「観光文化」235 p36）」もので、この中では「『自然や人文』などの観光資源」もインパクトを受けていると整理されている。

実例をもとにした観光の持続可能性を拒む行為や現象（インパクト）

インパクトを受ける客体	インパクトをもたらす要因	過剰利用（オーバーユース）や利用量の増大に起因すること	利用者の無知や無理解に起因すること	観光地の開発や整備に起因すること
観光資源（自然・人文）	<ul style="list-style-type: none"> 野生動物との軋轢（知床） 山岳地域のし尿問題（知床） 脆弱な高山帯や湿地などにおける植生の破壊（知床） 道圧による石畳の摩耗（斎場御殿） クワガタの生態への悪影響（座間味） サンゴなど海中環境への悪影響（座間味） 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの散乱（真喜屋） し尿による水質悪化（真喜屋） 	<ul style="list-style-type: none"> 隠微開発時の土流出によるサンゴ被害（恩納村） 必然性のない施設誘致による本来魅力の喪失（一般） 	
利用者・来訪者	<ul style="list-style-type: none"> 混雑や渋滞（知床） 本来の静けさの喪失（真喜屋） 予約が難しくなる（一般） 	<ul style="list-style-type: none"> 優れた自然の造形の未認識による振動の伝達（湯入湯） 荒天時の事故（真喜屋） 危険行為による事故（真喜屋） 観光客による喧嘩（北アラス） 	<ul style="list-style-type: none"> ヒグマとの遭遇による危険（知床） ヒグマとの遭遇懸念による利用禁止（知床） 	
地場産業	<ul style="list-style-type: none"> 漁業への悪影響（恩納村） 	<ul style="list-style-type: none"> 農業者の作業場への立ち入り（一般） 	<ul style="list-style-type: none"> 観光収入の他地域への流出（ニセコ） 	
住民の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞による緊急車両の通行困難（斎場御殿） 路上駐車による近隣住民への迷惑（真喜屋） 地元住民が大切にしていた場所の利用（真喜屋） 	<ul style="list-style-type: none"> 香炉への乗り上がり（斎場御殿） ワタキへの入り込み（久高島） 水着姿で集落内を歩くことによる風紀の乱れ（久高島） 		

（注）複数のセルに関わる「行為や現象（インパクト）」は最も関連が深いと考えるところに配置した。

（出典：寺崎竜雄（公財）日本交通公社「観光文化」235 p36）

こうした中、国土交通省による多少古い調査だが、「環境保全の取り組みを強化することが観光地の魅力向上につながり、ひいては観光地の持続的発展や『住んでよし、訪れてよし』の観光地づくり貢献することを検証する」目的で行われた、「観光と環境に関する調査報告書（平成20年2月）」の内容を、一部抜粋してご紹介する。

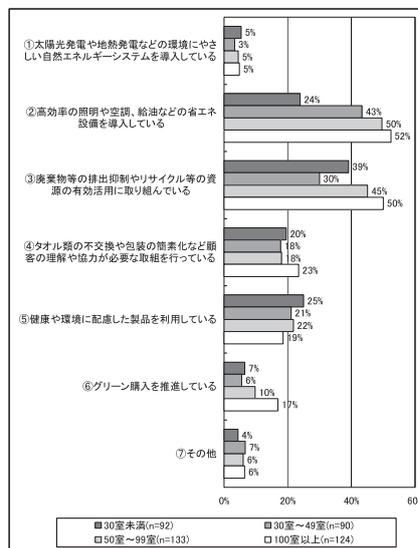
● 宿泊業における環境保全の具体的取組内容（客室規模別）

本調査では、我が国の観光分野における環境保全の取り組みについて、旅行業者、宿泊業及びイベント業者からなる観光産業を対象としたアンケート調査をもとに、我が国の観光産業における現状と課題を分析している。それでは、観光産業では具体的にどのような取組をしているのだろうか。

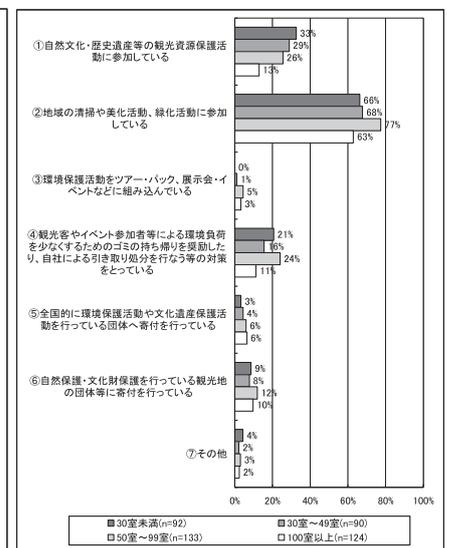
右は、観光産業のうち宿泊業について、環境保全の具体的な取組内容を抜粋して掲げたものだが、報告書では、大規模事業者では「省エネ設備の導入」や「廃棄物等の排出抑制やリサイクル等の資源の有効活用」に取り組む傾向がある一方、小規模事業者は、大規模事業者と比較して「自然文化・歴史遺産等の観光資源の保護活動への参加」や「地域の清掃や美化活動等への参加」に、より積極的に取り組んでいることが分かるとしている。

宿泊業における環境保全の具体的取組（客室規模別）

【省エネ・省資源化に関する取組】



【自然環境や文化遺産等の保護に関する取組】



●環境保全の取り組みの効果（客室規模別）

本調査では、宿泊業者の客室階級別に、環境保全についての具体的な取組による効果について、期待した効果と、実際に得られた効果を聞いている。

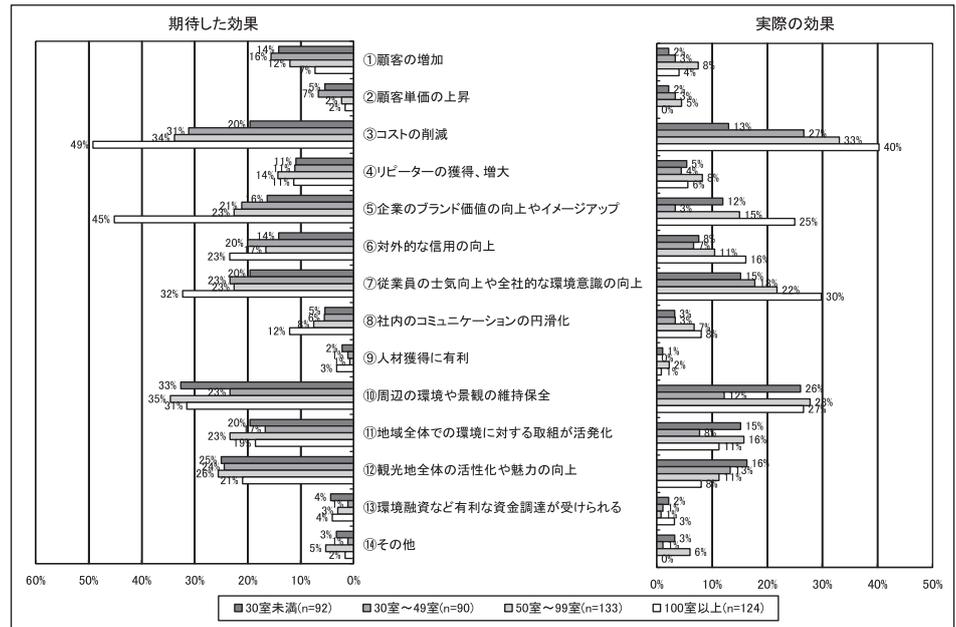
これによれば、取組の効果については、30室未満の層は、「周辺の環境や景観の保全」を最も期待し、実際の効果としても最多となっている。

30室～49室の層は「コスト削減」への期待が最も多く、実際の効果も最多となった。

50室～99室の層は「周辺の環境や景観の保全」と「コスト削減」が期待する効果として拮抗して多く、「コストの削減」は期待した効果とほぼ同水準で実際の効果が得られている。

100室以上の層では、取組を行う理由で上位に挙げた「企業ブランドやイメージ向上」と「コスト削減」への期待が高く、実際の効果でも上位に挙げたという。

宿泊業の客室規模別に見た環境保全の取組に際して期待した効果と実際の効果



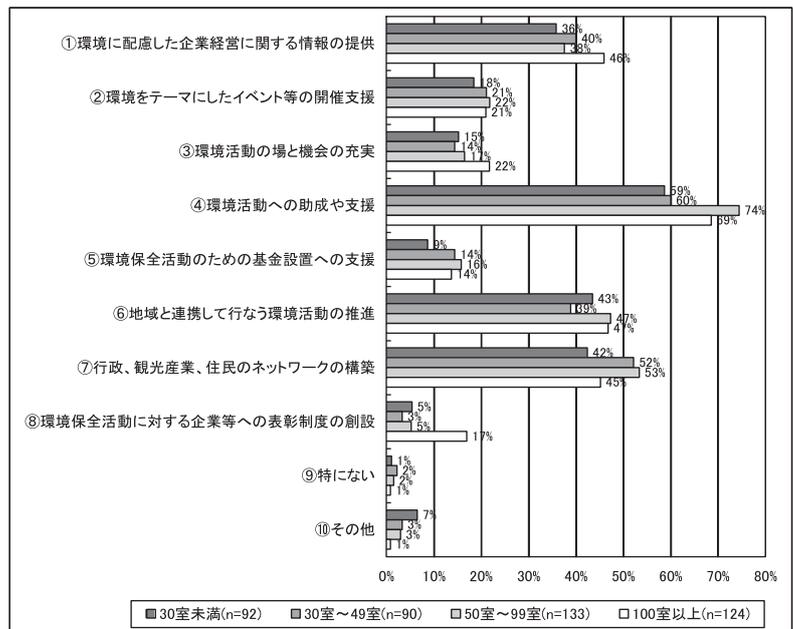
●環境保全の取り組みを活発化させるために望まれる支援や制度（客室規模別）

取組の活発化のための支援や制度については客室数で顕著な差は見られなかったが、「助成や支援」を期待する割合は、大規模の事業者の方が若干高く、「ネットワークの構築」を期待する割合は中規模の事業者で若干高かった。

これらのアンケート結果から「宿泊業では、特に大規模事業者の多くがコスト削減やブランド価値の向上といった視点から環境保全に取り組むなど、自社の経営上の課題として捉えているのに対し、中小の事業者は地域の観光資源こそが生命線であり、

これを地域で保全するというスタンスから、住民を含めた地域で連携して取り組む必要性を強く感じている。観光のスタイルが、団体旅行から個人・少人数グループ旅行へ、また通過型から滞在型・体験型へと変化する中で、宿泊施設だけで観光客を囲い込むのではなく、観光地全体で魅力を高め、受け入れるという地域における取組が宿泊業にとっても重要な課題となっている」としている。

宿泊業の客室階級別に見た取組を活発化させるために望まれる支援や制度



●観光客から見た観光地における取組の認識

それでは、観光地への来訪者は、地域が行っている環境保全の取組と地域の現況についてどのような認識を持っているのだろうか。

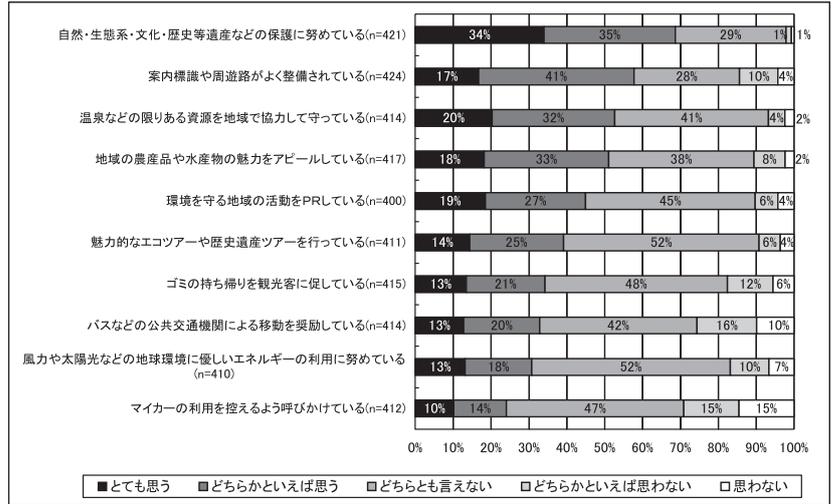
本調査では、観光と環境に対する先進的な取組を行う19の観光地(市町村)※への来訪者を対象とする観光客アンケートも行っている。

これによると、「観光地における環境保全の取組に対する観光客の認識を見ると、『自然・生態系・文化・歴史遺産等の保護に努めている』といった地域資源の保全

の取組や『地域の農産品や水産物の魅力をアピールしている』、『環境を守る地域の活動をPRしている』といった観光地としてのPRを観光客が気付き、認識しているという状況がうかがえる」としている。

※調査対象となった19地域は、自然観光地として摩周湖(北海道弟子屈町)、知床(北海道斜里町)、綾の照葉樹林(宮崎県綾町)、温泉観光地として湯布院(大分県由布市)、湯原温泉(岡山県真庭市)、草津温泉(群馬県草津市)、歴史観光地として石見銀山(島根県大田市)、松江城堀川(島根県松江市)、鎌倉市中心部のTDM(神奈川県鎌倉市)、白川郷(岐阜県白川村)、農山漁村観光地として蕪栗沼(宮城県大崎市)、バイオマスタウン構想(熊本県南阿蘇村)、勝山市エコミュージアム(福井県勝山市)鳥羽の海と島(三重県鳥羽市)、都市観光地として響灘(福岡県北九州市)、その他環境取組が資源化している観光地としてコウノトリの郷公園周辺(兵庫県豊岡市)、葛巻町クリーンエネルギーのまち(岩手県葛巻町)、直島(香川県直島町)、水俣病学習・環境教育(熊本県水俣市)である。

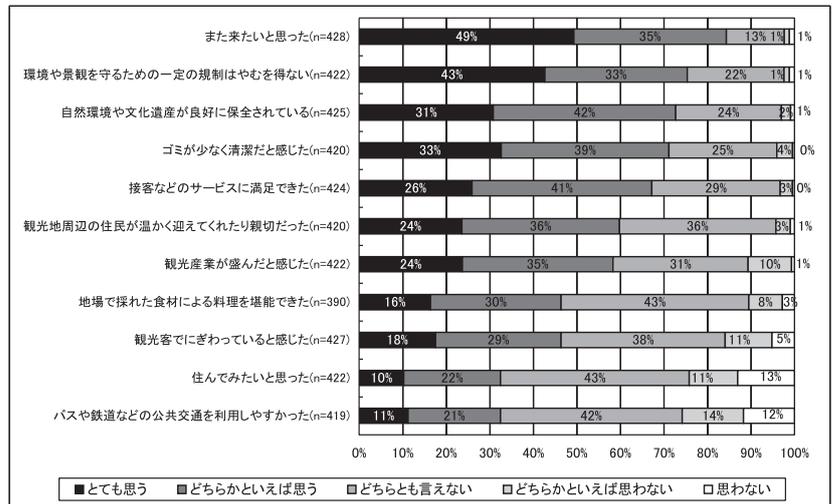
観光地における環境取組に対する観光客の認識



●観光客による観光地の感想

観光地に対する感想として「また来たいと思った」という観光客は、「どちらかといえば思う」を含めると8割を超え、対象19地域が観光地として観光客から高い評価を得ていることが分かる。また、約7割の観光客が「自然環境や文化遺産が良好に保全されている」、「ゴミが少なく清潔だと感じた」としており、観光地における環境保全の取組の成果も観光客に強く認識されている様子が分かるとしている。

観光客による観光地の感想



本報告書では、これらの観光客アンケート結果から、観光客から見た観光地における取組とその評価との関係性を検証するため統計上の手法を用いて分析を行っており、これによると、

① 環境保全の取組とその評価の関係

自然・歴史遺産等の保護や地場産物のアピール等の取組は、観光地に住んでみたいと感じさせたり、観光産業が盛んと認識させるなど、観光地のにぎわいを感じさせることに効果があると示唆される。また、交通の環境負荷軽減の取組は、観光地の環境がよく保全されているという認識につながっている。地域インフラや地域協力を

関する取組はおもてなし品質の向上につながっており、これは案内標識や周遊路整備、観光客のゴミの持ち帰り促進といった観光客に向けた取組が、観光地住民等のおもてなしの意識を向上させているものと考えられる。

② 再来訪意向への影響

観光客の再来訪意向に影響を与える要因としては、観光地のにぎわいとおもてなし品質がほぼ等しく関係しているとの結果が出た。集客に関する観光地の競争力としては、初めて観光地を訪れようとする観光客にとっては観光地の知名度や価格要因が大きいと思われるが、本分析からは、観光客が再び同じ観光地を訪れたいと思うためには、接客サービス等のおもてなし品質も大きな要因になると考えられるとしている。

近時は観光地選びの決定要因が価格からサービス品質に移っているとされる。すると、今後サービス品質をより高いレベルで競うようになれば、観光地の環境保全の取組の在り方が次の差別化要因として競争力を持つてくるのかもしれない。当地域にとっても、様々な制約要因はあろうが、限りある資源を大事に使う取組そのものが「おもてなし」の一要素となりうる点で、本調査は重要な示唆を与えてくれているのではないだろうか。

(文責 飯田信用金庫地域サポート部 中村 達)

第49回 しんきん経営講演会のご案内

第49回 しんきん 経済講演会



【著書】
「テレビが飛びつくPR」(ダイヤモンド社)
「売れないものを売るスラシの手法」(青春出版社)
「ブームをつくる人がみずから動く仕組み」(集英社新書)など

【メディア出演】
「ニュースウォッチ9」(NHK)、「ビートたけしのTVタックル」
(テレビ朝日)、「パンキシャ」(日本テレビ)、「スッキリ!!」(日本テレビ)、「VOICE」(毎日放送)など

演題 **ブームをつくる**
～人がみずから動く仕組み～

講師 **殿村 美樹氏**
(株式会社TMオフィス代表取締役・PRプロデューサー)

【プロフィール】
京都府宇治市生まれ
1989年 TMオフィス創業
2015年 同志社大学大学院ビジネス研究科の教員に就任
2016年 公益社団法人日本パブリック・リレーションズ協会の理事に就任
2017年 内閣府地域活性化伝道師

【実績例】
1993年 「佐世保バーガー」のブランド化
ご当地バーガーブームに火をつける
「今年の漢字」企画プロデュース
2007年 滋賀県観光PRの一環として、「ひこにゃん」を全国PRし、
全国で「ゆるキャラ」ブームを起こす
2010年 「PRアワードグランプリ ソーシャルコミュニケーション部門
最優秀賞」受賞(「豊新市場開拓プロジェクト」)
2011年 「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクト
香川県の観光誘客に成功する

◆その他数多くのプロジェクトに携わり、「お金をかけないPR戦略」の名プロデューサーとして名高い

日時 平成29年 **11月7日** 13:30~15:00
(受付 13:00~)

会場 **シルクプラザ** (飯田市育良町1-7)

お車はなるべくお乗り合わせの上、ご来場ください。

定員 **300名**
入場 **無料**

お問い合わせ先：飯田信用金庫 地域サポート部 電話 (0265) 53-5811